

ベラビスタ 概要

尾道と鞆の浦の中間地点にあり、瀬戸内海を眼下に望む「ベラビスタ スパ&マリーナ 尾道」は外観も内部も素晴らしく、見るべきものがいっぱいです。ホテルは瀬戸内海のマリーナ背後の丘の上にある。マリーナは「せとうち SEAPLANES」の各便やクルーズ船「ガンツウ」の発着地になっています。ベラビスタ スパ&マリーナは元々は地元の造船会社の賓客を迎えるために、1973年に建てられたものでしたが、2007年にラグジュアリーなホテル、スパ、結婚式場として正式にオープンしました。

ホテルのリノベーションは中村拓志が携わり、その過程でユニークな「リボンチャペル」、レストラン「エレテギア」などの設計を手がけました。中村氏の設計は自然にフォーカスしたもので、ベラビスタでも各室の床や壁、ミニマリストスタイルの家具には、明るい色調の木が使われています。45ある全ての客室からは大きく広がる海を望むことができます。

もっとも素晴らしい客室はメゾネット スパ スイートでしょう。中村氏が2フロアにまたがる3部屋をつないだこのスイートルームの天井高はなんと5メートルにもなります。部屋には広い海を眺めながら岩盤浴ができる贅沢なバスルームもあります。

実際、海はベラビスタそのものの一部と言ってもいいでしょう。ベラビスタ スパのテラス「ザ・デッキ」を飾るのは、まるで海に流れ込んでいるかのような水盤。ザ・デッキは海とゲストの間にあるはずの山の斜面が完全に見えないように設計されています。水盤を飾るブルーのモザイクタイルはホテル中央のホールに始まり、エントランスそして外のザ・デッキまでずっと続いていて、外と中とをつないでいます。ザ・デッキには周囲より一段低くなった四角いシーティングスペースがあり、ここに座ると周囲に見えるものに邪魔されずに瀬戸内の眺めに浸ることができます。